



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〈第四三二号〉

大雪 たいせつ 十二月七日

阿部夫美子遺作展

伊勢の和紙人形作家、阿部夫美子ふみこさんが今年四月に急逝されて半年あまり、おかげ横丁の「旧おかげ座」で、遺作展が始まりました。

伊勢市生まれの阿部さんは、昭和五十年、東京の和紙人形作家、中西京子氏に師事し、創作を本格的に開始。おかげ横丁「神話の館」の神々の人形をはじめ、神道博物館に展示されている「遷御せんぎよの儀」のジオラマなど、伊勢の歴史や文化にゆかりのある作品を創作してきました。私も、今から二十五年ほど前になりますが、宇治浦田のご自宅を訪ね、取材したことがあります。愛らしいひな人形にすっかり魅了されたことを覚えています。

今回の遺作展には、写真集『和紙夢現わじむげん』に掲載された作品を中心に四十数体がざらりと並びます。天照大御神あまてらすおおみかみ、月読命つきよみのみことなど日本神話に登場する神々や倭姫命やまとひめのみこと、倭健命やまとたけるのみこと、卑弥呼ひみこ。そして、仏さまを女性像として創作した作品などは圧巻です。とくに姿の见えない神々を創作するのは、阿部さんならではの。内宮のご祭神の天照大御神は、荒御魂あらかみたまのお姿を分けて創作するなど、伊勢神宮のお膝元で暮らす阿部さんの感性とお見受けしました。動きのある装束は、和紙に針金を入れ、綿で肉付けをするなど、工夫をこらしています。ご長男の阿部暖さんによれば、夜中にもくもくと創作していたそうで、生前の取り組む姿が伺えました。最後となった作品は、令和四年に三重県総合文化センターで開催された「三重の作家たち展」に出展した「薰風くんぷう」。白色を基調とした装束を身に着けた、のびやかな女性像で、顔はどこか阿部さんに似ているように思いました。

会場には、神宮皇學館で学んだ詩人、坂村真民しんみんの「めぐりあいのふしぎにてをあわせよう」の額が飾ってありました。きっと阿部さんも手を合せていたに違いないと、創作の信条に触れたように思いました。遺作展は今月十五日まで。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 阿部夫美子遺作展

伊勢の地で独自の美の世界を創造し続けた和紙人形作家・阿部夫美子さん。
今までに作り上げてきた作品から、和紙人形集「和紙夢現」の掲載作品を中心に約40体を
展示いたします。
一体一体に情熱を注ぎ込んだ作品の数々を、ぜひご覧ください。
日 時／11月30日(土)～12月15日(日) 10:00～17:00
場 所／旧おかげ座
入場料／無料

○ 歳の市

おかげ横丁では、しめ縄作りやミニ門松作りなど、昔ながらの正月迎への風習に触れる、
お正月のことはじめ「歳の市」を開催いたします。
おかげ横丁「歳の市」で福をお持ち帰りいただき、晴れやかな気持ちで新年をお迎えください。
日 時／12月14日(土)～12月28日(土) 10:00～17:00
場 所／おかげ横丁一帯
※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。

お問い合わせ／おかげ横丁 総合案内「おみやげや」 電話 0596-23-8838

五十鈴塾

○ お正月のハンキングバスケット

今年もお正月飾り用の花をハンキングバスケットで作ります。
ミニ葉ボタンを中心にビオラ・パンジー・スイートアリッサム・シロタエ菊等が彩を添えます。
一見入りきらないぐらいたくさん用意されたお花たちを、先生の指導のもと植えていくと、ピツタ
リと収まり素敵な作品に仕上がります。
日 時／12月18日(水) 13:30～15:00
講 師／山路 元彦 (ヤマジ園芸 代表取締役・グリーンアドバイザー)
参加費／一般 5,300円 会員 4,800円
場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

ゆ ず 柚子は、古くから日本人の暮らしの中で親しまれてきた柑橘類です。
柚 子 その素晴らしい香味をお届けします。
村雨生地仕立ての彩りも爽やかな一品です。

ほ がき 伊勢路の家々の軒下に吊るされる干し柿は、初冬の風物詩のひとつです。
干 し 柿 柿餠を餅生地で包み、干し柿の姿をそのまま写しとりました。

ふゆ 冬 なごみ 師走のきびしい寒さの庭に千両万両の赤い実が目にとまります。
二色のきんとんで粒餠を包みました。心なごむ冬の情景です。